

研究課題「神経芽腫に合併するオプスクローヌス・ミオクローヌス (OMS) 症候群発症機構の解明」に関する情報公開

1. 研究の対象

これまで当院を受診された患者で、神経芽腫に合併するオプスクローヌス・ミオクローヌス (OMS) 症候群を発症した方・中枢神経白血病や変性疾患などの疾患で髄液採取が行われた方で何らかの理由により髄液が保存されている方が対象です。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、東京医科歯科大学が倫理委員会による承認を得て行うものであり、当院の保有する試料・情報を提供することで、将来的な治療法開発のための研究に協力するものとなります。

研究目的：オプスクローヌス・ミオクローヌス症候 (OMS) はオプスクローヌス、全身性ミオクローヌス、小脳運動失調を3大症状とする疾患で、ウィルス性脳炎、悪性腫瘍、代謝障害、変性疾患などに合併します。とりわけ傍腫瘍性神経症候群 (腫瘍に合併して発生する神経症状) としての OMS は重要です。小児では神経芽腫に高頻度に合併することが知られております。OMS の原因に関しては不明で自己免疫的な機序が推定されています。本研究ではこの病態を解明し、将来的な治療法開発につなげることを目的としております。

研究方法：髄液が保存されている検体を用いて、自己抗体の網羅的解析、発現に変動の見られるタンパク質の網羅的プロテオーム解析を行い、共通して同定される自己抗体、共通して変動するタンパク質を同定することにより、病態を解明します。

研究期間：2020年4月～ 2025年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：すでに保存されている髄液

情報：病歴

4. 外部への試料・情報の提供

あり

提供先

氏名：高木 正稔

所属研究機関：東京医科歯科大学

5. 研究組織

東京医科歯科大学

研究遂行者（分担研究者）				
氏名	所属	職	責任者・研究者の別	役割分担
高木正稔	発生発達病態学分野	准教授	責任者・実施者	検体収集・解析
柳町昌克	発生発達病態学分野	非常勤講師	実施者	解析
岩田啓	発生発達病態学分野	大学院生	実施者	解析
研究補助者（研究を補助して実施する者）				
長瀬美香	発生発達病態学分野	技術補佐員	実施者	遺伝子・機能解析

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻発育・加齢医学 教授 高橋義行

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

連絡先：052-744-2294

-----以上